

令和2年度 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターふじ寿か園 PDCAシート
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

生活支援についてボランティアセンターの立ち上げ、ささえあいバス運行が地域で実施されている。それぞれの利用者の増加につなげるために、広報の協力や運営への書類作成等の後方支援だけでなく協力していく。また昨年度行ったエンディングノートの内容に沿って、講座の開催をサロンなどで実施し、老後に関して不安の解消へつなげていく。地域特性として、福祉施設が多く、グループホームが中心となって、認知症の周知活動を行っている。
地域で実施しているインフォーマルサービスをケアマネジャーにも周知し、利用者の増加へつなげるとともに、ケアマネジャーからも地域に必要な社会資源の情報を収集していく。

今年度の重点的な取組

| 新規 | 継続 | —具体的な取組内容— |
|--------------------------|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 継続して、まちづくり委員会、生活支援推進委員会に参加し、地域が課題としているささえあいバス利用者を増やす、ボランティアセンターの活動に必要な体制づくりなど、支援チームと共に運営や周知方法など後方支援をしていく。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・エンディングノートの講座を通して実施。前年度実施だけでなく、その後の経過など加筆修正していくためにも、講座を実施していく。 ・地区内のサロンや老人会に向けて出前講座を実施 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | GHと協働事業として小中学校で認知症サポーター養成講座を実施。一般向けにはサロンで実施。山下ふれあいまつりの継続実施を支援し、認知症についての周知活動を行う。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ケアマネジャーに事例を用いて、病識への理解や利用者本人だけでなく家族も含めたアセスメントができるように支援していく。介護サービスだけでなく、社会資源として、地域にあるインフォーマルの周知。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度はコロナ禍で実施できずに中止になった会議も多いなか、電話やメールなどで情報収集や共有した。連合が実施しているまちづくり委員会などへは参加ができなかったが、書面やメール等で情報をいただいております。また、次年度に向けてささえあいバス周知の必要な情報収集や方法について協力し、後方支援を実施した。認知症の周知への取り組みでグループホームを中心とした活動については、コロナ禍で実施は中止となった。定期的な会議も中止とし、メールにて必要な情報をやり取りを実施し、次年度に向けての活動について共有している。ケアマネ支援についてもコロナ禍で事例検討は中止したが、ケアマネへの支援として個別支援が必要なケースには、電話での共有を各事業所と連携し対応した。
エンディングノートについては、広い会場を利用できることになり、参加人数を少なくすることで実施。しかし状況や参加者の不安などをみて途中で中止する可能性もある。出前講座については各自治会館の利用ができなく中止となった。コロナ禍で中止することが多かったが、介護予防でのサロンへ体操などの冊子を配布したように、様々な情報を提供できるように次年度は配布も含め検討していきたい。

区からのコメント

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業や取組を行うことが難しい一年だったかと思えます。そんな中、感染予防に留意し、様々な工夫をしながら各種事業や、個別支援・地域支援を行っていただき、ありがとうございました。
これまでのように集合形式で会議や事業を実施できない中でも、関係機関とのネットワークを生かし、個別にアプローチを行い、ケアマネジャーへの支援、介護予防等に丁寧に取り組まれました。一方で、集合形式以外の形態での事業実施を検討する必要性も高まっています。ICTを活用した事業展開についても検討していただければと思います。
次年度は貴法人は山下地域ケアプラザ指定管理者として地域ケアプラザ運営をしていただきます。これまで培ってきた地域住民や関係機関との関係性を生かした事業展開を期待しています。

令和2年度特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターふじ寿か園事業計画書・報告書(施設運営)

1 施設の適切な運営について

| | 公正・中立性の確保について | コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等) |
|------|---|---|
| 取組計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・市、区や関係団体の連絡会等での研修に参加し、各職種に必要なスキルを学ぶ。 ・公正、中立性の確保について、利用者へホームページなど使用し情報提供を行い、本人が主体となって選択できるように動く。 | <p>緊急時対応マニュアルとしてファイルを作成。利用者の急変時や事故への対応、災害時の対応。苦情対応や個人情報に関するマニュアル作成。マニュアルを作成し、ファイルとして確認できるようにしている。</p> <p>法人が行う個人情報や人権などの職員研修に参加し伝達している。また行政や市社協が行っている研修へ必要に応じて参加している。</p> |
| 実績 | <p>研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 4/9介護保険最新情報確認 4/21地域ケアプラザの公平中立性の確保について 4/27個人情報漏洩事故防止について 7/31人権擁護 8/5新型コロナウイルスの感染対策について 11/20法令遵守研修 | <p>研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/26倫理研修 6/23個人情報研修 7/31人権擁護 8/5新型コロナウイルスの感染対策について 11/20法令遵守研修 |

